

B-5 手作りおやつ

■「一人一人にそれぞれのフツウ」

■自分で感じ・考え・選び・決める・行動する

■視覚的・具体的・肯定的なコミュニケーション

取組み	①健康・生活	②運動・感覚	③認知・行動	④言語・コミュニケーション	⑤人間関係・社会性	家族支援	地域支援
メニュー決定	■自分たちで育てた自然栽培の米、麦、野菜を使用する。■田圃や畑での体験を思い出す。		■自分の好きなもの、嫌いなものを思い出す。■今日作りたいおやつを考える。	■自分の好き嫌い、今日作りたいおやつを言葉にしてみんなに伝える。■みんなの言葉にも耳を傾ける。■自分が作りたいおやつを用紙に書いて、ホワイトボードに貼り付ける。	■ホワイトボードに貼られた紙を見ながら、みんなで話し合い、調整して、■メニューを1つに絞り込む。■自分が希望するメニューにならない場合に、感情のコントロールをする。	■ご家族を招待し、一緒におやつを作り、食べる機会を作る。	■地域のみなさんを招待し、一緒におやつを作り、食べる機会を作る。■地域食堂的な場へと発展させる。
材料の選択	■オーガニックな食材、添加物ない安全な食材を使用することを確認する。		■決定したおやつを作るために必要な食材、器具を想像してみる。■それぞれの単価も考える。	■必要な食材、器具を言葉にしてみんなに伝える。■みんなの言葉にも耳を傾ける。■自分が必要と考えた食材・器具を用紙に書いて、ホワイトボードに貼り付ける。	■ホワイトボードに貼られた紙を見ながら、みんなで話し合い、調整する。■予算内に収まるかも検討する。■食材・器具のリストを作成する。		
買い出し	■買い出し中、怪我・事故のないよう安全に配慮する。	■商店まで徒歩で移動する。	■必要な食材はどこに売っているかを考える。■調理器具はどすこいのものを借りる。何を借りるかを考える。	■自分の考えを言葉にしてみんなに伝える。■みんなの言葉にも耳を傾ける。	■リストに準じて買い物をする。■予算におさまるか、等みんなで話し合い、調整しながら買い物をする。		
手順の確認			■どんな手順で作れば美味しいおやつが出来るか考える。	■自分の考えを言葉にしてみんなに伝える。■みんなの言葉にも耳を傾ける。	■スタッフに監修してもらいながら、みんなの意見をまとめ、調理手順書を作成する。		
調理	■清潔な服装、手洗い消毒、マスク・手袋の使用。■家での調理体験を思い出しながら、おやつ作りをする。■食材の形、色、硬さ、大きさ等工夫する。	■火傷や怪我をしないように、調理器具を安全に使う。	■調理器具の使い方はスタッフの指示に従う。■調理手順書に準じて調理する。■食材・調味料の計量を体験する。■おやつの時間に間に合うように調理する。	■台所という狭い空間での作業を安全に行うために、自分がやろうとしていることや調理の状況について、言葉にして伝え合う。■他者の言葉に耳を傾け、返事をする。			
配膳	■布巾でテーブルを拭く。■アルコール消毒を行う。	■食器を落としたり壊したりしないように注意して扱う。	■子どもたち、お客様、スタッフの人数に応じた食器を用意する。■おやつを一人一人の希望に沿って盛り付ける。	■おやつの時間をみんなに伝え、お片付けしてもらおう。	■順番に並びおやつをもらおう。■もらったからお礼をいう。		

おやつを食べる		<p>■姿勢を保持する。■お箸やスプーン、フォーク等を巧みに使えるよう、動作の向上をはかる。</p>	<p>■苦手な物も、お皿に入れて、チャレンジする。■お代わりは2回まで、などのルールを守る。</p>	<p>■食べる前に「いただきます」という。■「これ大好きやねん!」「やっぱりこれは食べられへんわー」など、感想を語り合いながら食べる。■困ったら助けを求める。■助けを求められたら応じる。■食べ終わったら「ごちそうさま」という。</p>		
片付け	<p>■食べ終わった食器を台所に持っていく。</p>	<p>■食器を落としたり壊したりしないように注意して扱う。</p>	<p>■食器を洗う。</p>			
振り返り			<p>■今日のおやつを思い返してみる。</p>	<p>■「おいしかった」「また食べたい」「苦手やったけど今日は食べれた!」などおやつに対する自分の思いを言葉にしてみんなに伝える。■改善点や次回への希望も伝える。■他者の言葉にも耳を傾ける。■みんなの振り返りを「おやつノート」に記録する。</p>		